

五洋食品、タイで現地生産

コンビニ向けにチーズケーキ

冷凍ケーキメーカーの五洋食品産業（本社福岡県糸島市、舛田圭良社長）はタイの企業と業務提携して現地生産を開始した。第1弾商品「バイクドチーズケーキ」をタイのセブン・イレブンが今月9日、全店で発売した。

業務提携したのはタイの S r i f a Frozen Foods。同社のグループ会社とタイでの販売に関する独占契約を2014年5月に締結し、販売を促進してきたが、現地の消費者が求める価格で提供できず、輸出は一旦停止状態にあったという。

同社製品を高く評価していた S r i f a グループの強い意向もあり、レシピ・仕様書に基づく製品の共同試作を昨年春から1年間継続。五洋食品の開発・生産スタッフは3〜4回タイに

渡って S r i f a の工場でテストを重ねてきた。

以前日本から輸出していた6号（直径18センチ）を12等分したバイクドチーズケーキは65パーツ（約226円）だったが、現地で生産したひと回り大きい7号（同21センチ）を12等分したバイクドチーズケーキは39パーツ（約136円）で店頭に並んでいる。パッケージに「美しい」と日本語を表記して「日本品質」であることを訴求している。直近ではタイのセブン・イレブンは約1万2千店ある。

五洋食品は仕様書・レシピを開示して生産についてアドバイスし、収益の一部を対価として受け取る。

同社の藤永晋也取締役海外戦略室長は「今後、S r i f a がスーパーやホテルなどにも販路を広げていくことになる。当社と提携したことで、日本のトレンドがタイムリーに把握でき、製品化できる点が強みになる」と期待している。さらに「ノウハウを提供して現地生産するプラットフォームを確立することが実績として証明できた。他のアジア地区でも同様の展開が可能になると見据えている」。



タイのセブン・イレブン向けに生産している「バイクドチーズケーキ」

2020.7.14 15:29:16